

トークセッション

～ これからの生活困窮者支援を考える ～

【進行役】

ルーテル学院大学
大学院 教授

和田 敏明先生



研究とともに、各地の多様な地域
福祉実践と関わる

生活困窮者支援を通じた地域づくり、
まちづくりを实践

社会福祉法人
高島市社会福祉協議会
事務局長

井岡 仁志さん



一般社団法人
インクルージョンネット
かながわ
代表理事

鈴木 晶子さん



都市部で困難な状況にある若者に
対して寄り添い型支援を実施

【登壇者のご紹介】

<進行役>

● 和田 敏明 氏

(ルーテル学院大学大学院 総合人間学研究科社会福祉学専攻主任 教授)

◆ 井岡 仁志 氏

(社会福祉法人 高島市社会福祉協議会 事務局長)

奈良市生まれ 広告制作、FMラジオ局の仕事を経て、30代で滋賀県朽木村に移住。木こり生活を経験後、2003年に朽木村社会福祉協議会に入職。2005年合併に伴い高島市社会福祉協議会職員として、地域福祉・ボランティアセンター業務を経て、現在に至る。

- ・認定NPO法人日本ボランティアコーディネーター協会理事 (2012年～2015年)
- ・社会福祉法人大阪ボランティア協会 評議員 (2014～)
- ・全国ボランティア・市民活動振興センター運営委員会委員 (全社協) (2015年～)

(参考資料 P 53～66)

◆ 鈴木 晶子 氏

(一般社団法人 インクルージョンネットかながわ 代表理事)

若年生活困窮者の支援をしている臨床心理士。心理的なケアやソーシャルワーク、就労支援、地域コーディネートを中心とした寄り添い型支援を行う。現在、生活困窮者を支援する一般社団法人インクルージョンネットかながわ代表理事。鎌倉湘南地域を中心に活動している。その他に、貧困世帯の高校生を支援するNPO法人パノラマ理事、一般社団法人生活困窮者自立支援全国ネットワーク事務局を務める。

【出演メディア】

- ・NHK スペシャル 2014年12月28日放送「子どもの未来を救え?貧困の連鎖を断ち切るために?」
- ・NHK クローズアップ現代 2014年1月27日放送「あしたが見えない～深刻化する“若年女性”の貧困～」

他

(参考資料 P 67～75)

地域での連携による生活困窮者支援の 新たな方向性～地域で創造するこれからの生活困窮者支援～

高島市社会福祉協議会

井岡仁志



1

概要

1. 高島市の紹介
2. 高島市における生活困窮者自立支援事業について
3. 話し合いの場づくり、ネットワークづくりについて
4. 住民と協働する地域づくりについて
5. まとめ

2

要点

①ネットワークづくり

どこかひとつの機関が担えない問題を官民のネットワークで支える。そのためには継続した「協議の場」が必要。

②住民との協働・地域づくり

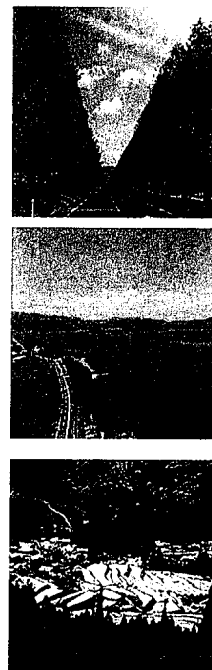
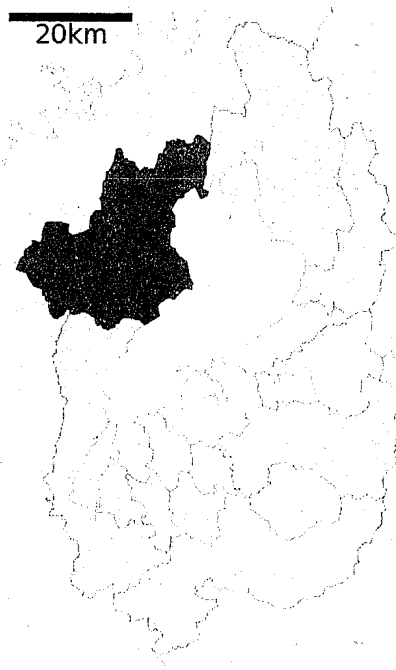
制度（専門職、行政）だけでなく、その人の暮らす地域（住民）と協働する。そのためには「地域づくり」（誰も排除しない地域）が必要。

3

滋賀県高島市

平成27年4月1日現在

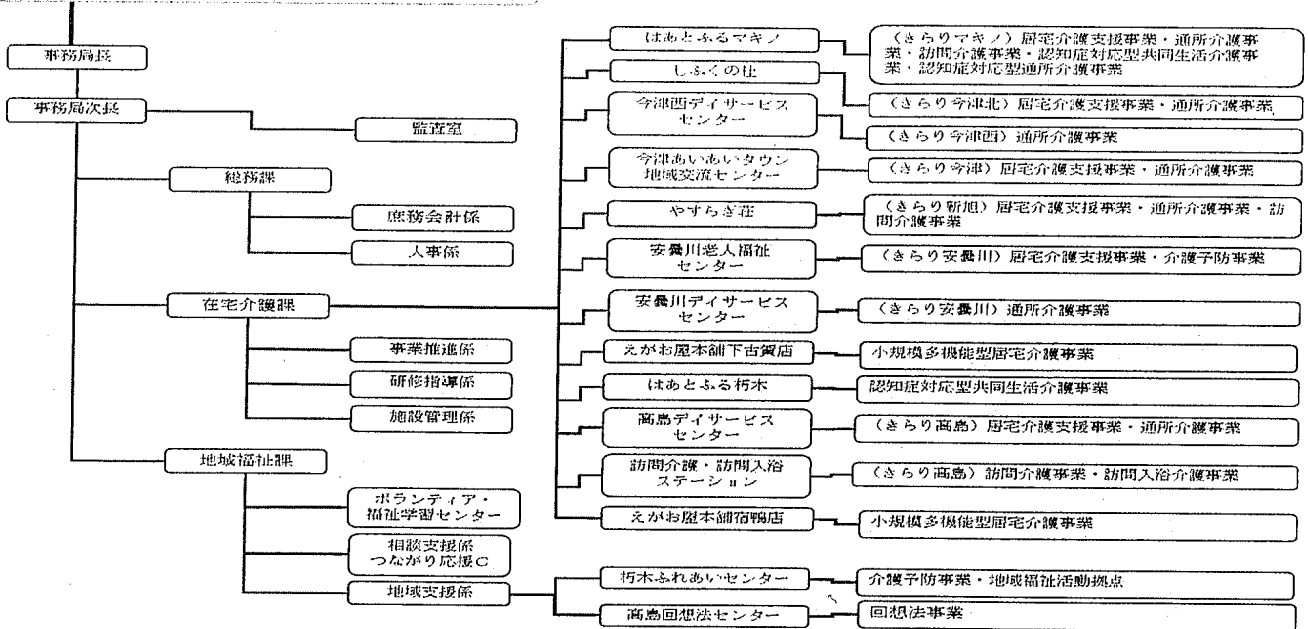
合併	H17年1月1日（6町村）
面積	693 km ²
人口	51,349人
うち0～14歳	5,982人（11.6%）
うち65歳以上	15,849人（30.9%）
人口密度	74.0人
世帯数	20,145世帯
世帯当たり	2.5人
自治会数	204（自治会未加入世帯が3割）
限界集落数	18（H26年3月末）
準限界集落数	73（H26年3月末）



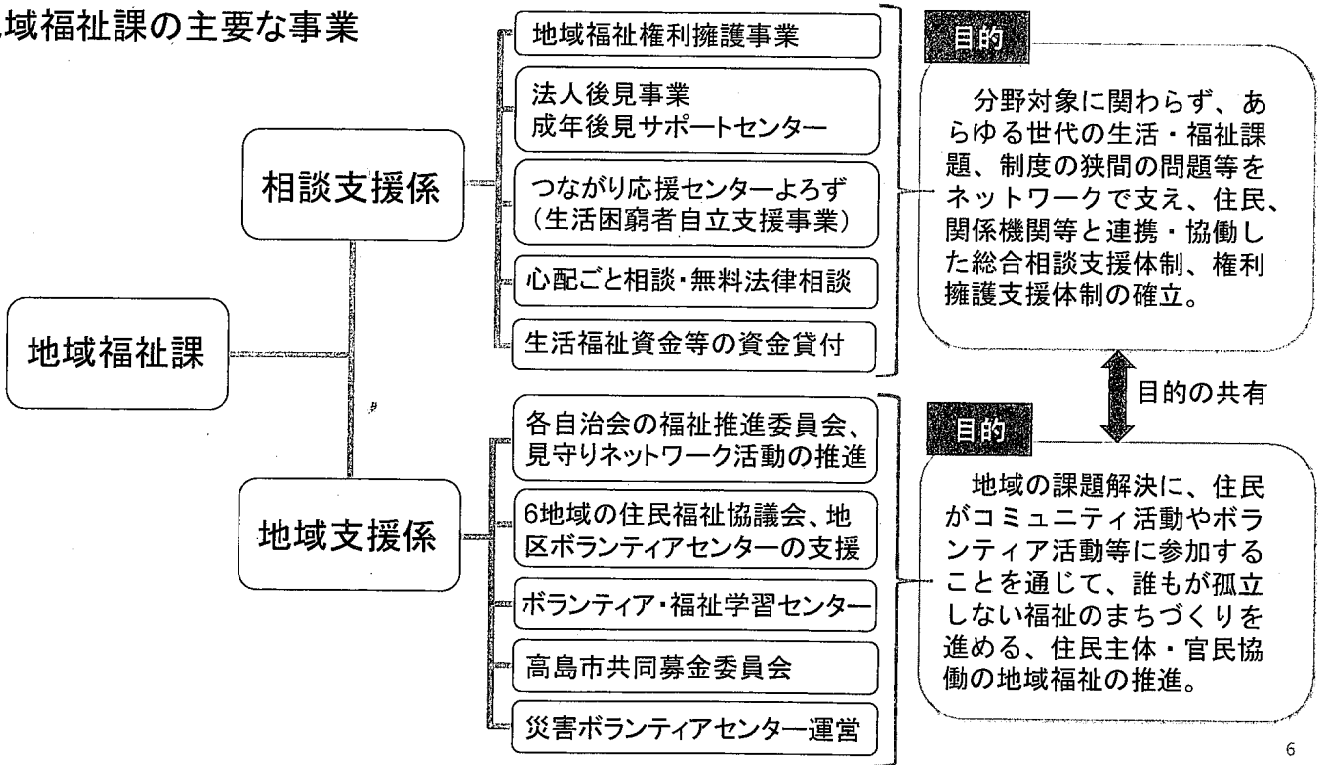
4

高島市社会福祉協議会 組織体制図 (2015.7)

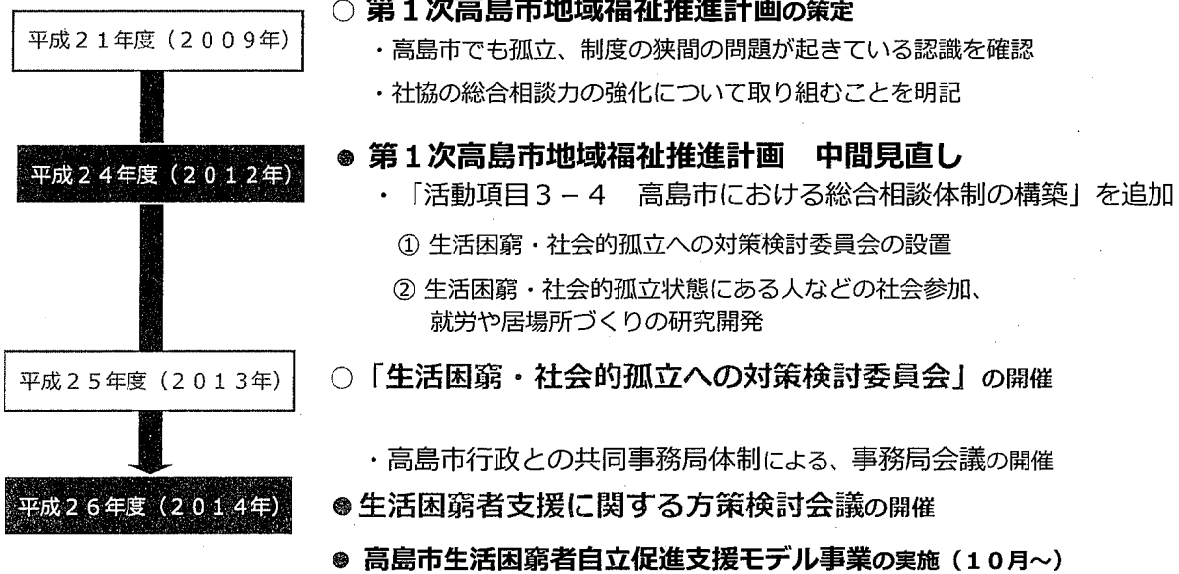
役員:理事10名 監事2名/評議員21名



地域福祉課の主要な事業



生活困窮者自立支援事業実施に至る経緯



高島市の生活困窮者自立支援事業

○実施事業：自立相談支援事業と家計相談支援事業を実施

いずれも社協に委託されているが、行政職員1名が週2日社協に出向し、相談業務と庁内連携コーディネート業務をおこなっている。

○自立相談機関名：つながり応援センターよろず

○体制：主任相談支援員1名（正規職員 兼相談支援係長 社会福祉士）

相談支援員2名（正規職員 精神保健福祉士＋行政ケースワーカー）

就労支援員1名（正規職員 無料職業紹介事業等の担当）

家計相談支援員1名（正規職員）

○生活保護の状況（平成27年4月1日現在）

被保護世帯数265世帯 被保護実人員385人 保護率7.70%

ネットワークづくりにこだわる

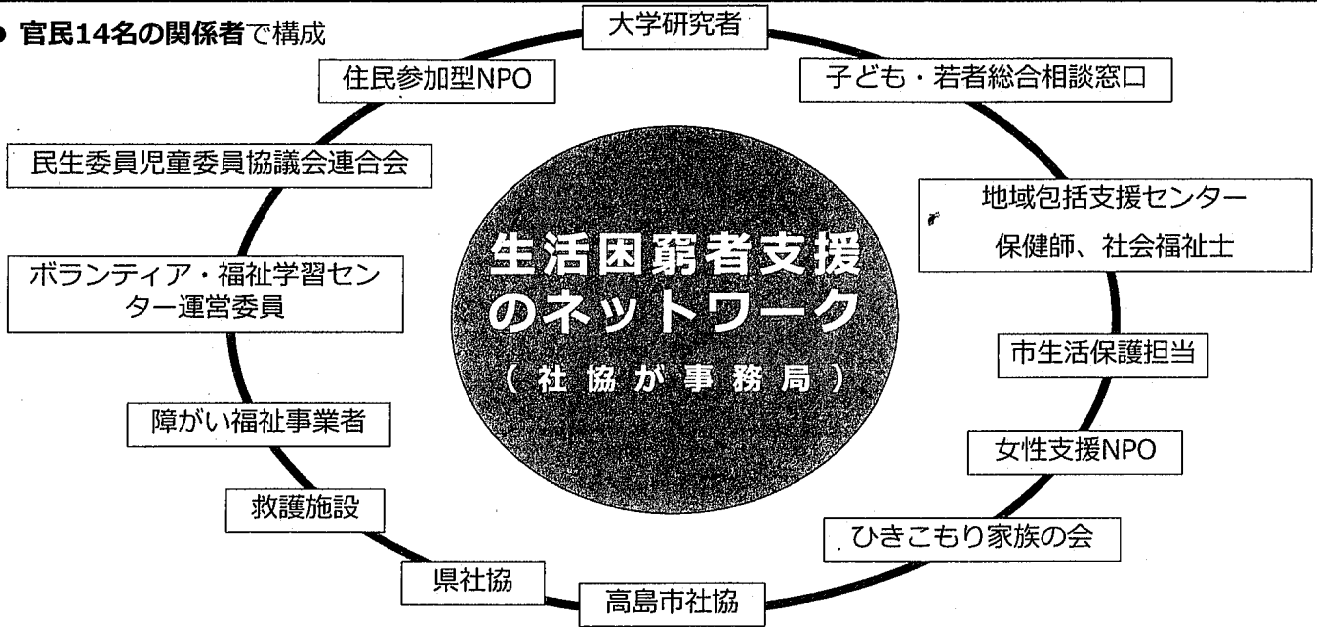
- 生活困窮者自立支援事業
 - ・ ケース対応（自立相談支援、就労支援、家計相談支援）
- つながり応援センターよろず運営委員会
 - ・ つながり応援センターよろず運営委員会
 - ・ 就労支援部会
 - ・ 子どもの貧困対策部会
- 関係機関・団体とのネットワークの構築
 - ・ なんでも相談会の開催（医療福祉・法律の専門家による合同相談会）
 - ・ 庁内連携会議の開催（生活困窮者自立支援事業に関する庁内連携の場）
 - ・ 地域生活支援会議の開催（社協の部門間連携会議）
 - ・ 相談窓口職員連絡会の開催（医療・福祉・教育・法律、生活相談等関係者のネットワーク）
 - ・ 関係機関・団体との連携（障がい者自立支援協議会、子ども・若者支援地域協議会など）

2013「生活困窮・社会的孤立への対策検討委員会」



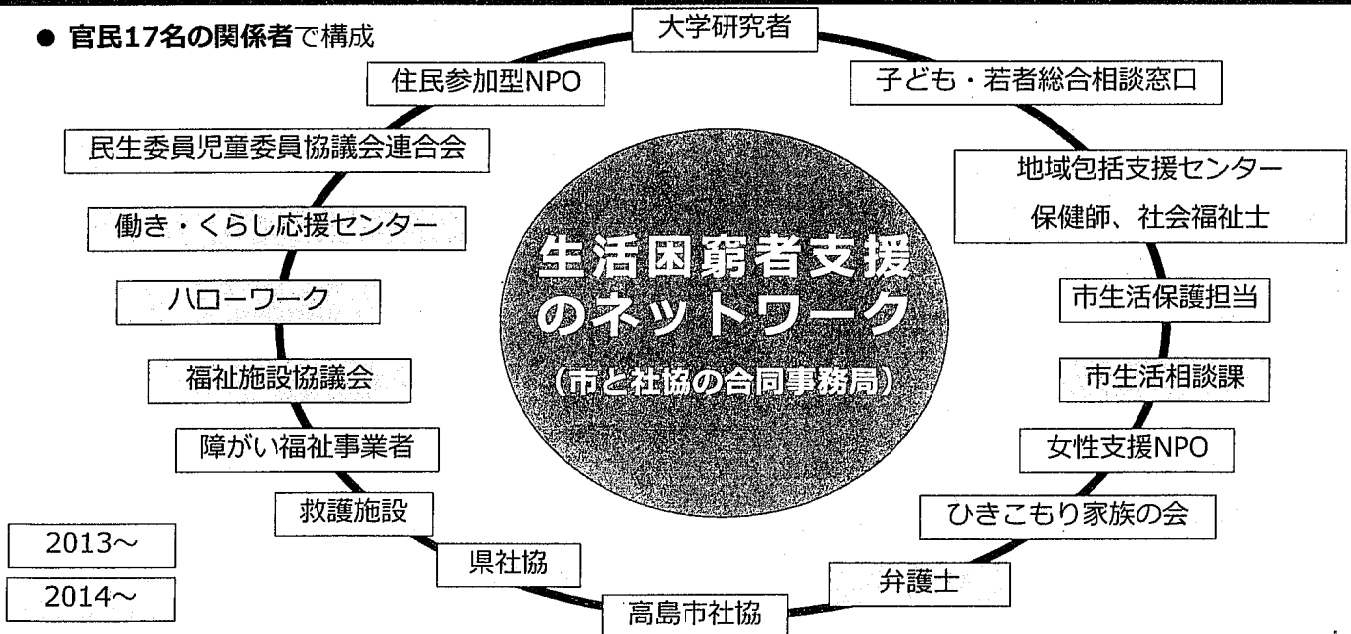
2013「生活困窮・社会的孤立への対策検討委員会」

● 官民14名の関係者で構成



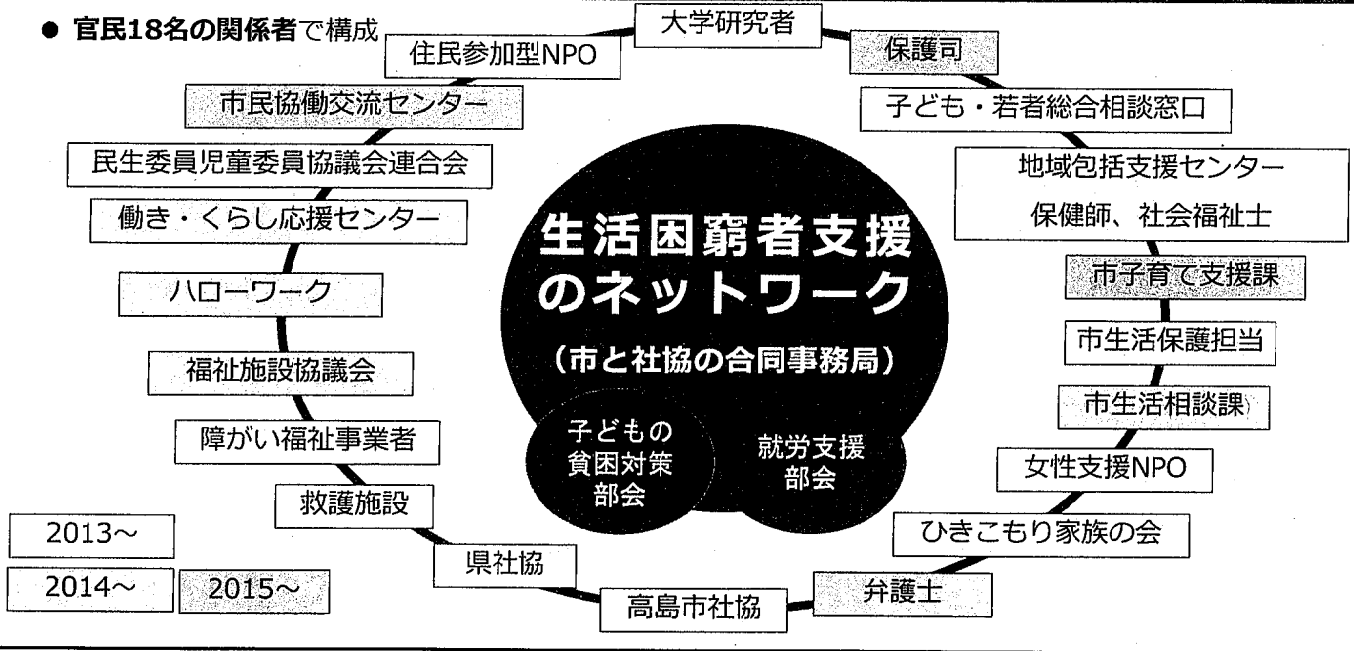
2014「生活困窮者支援に関する方策検討会議」

● 官民17名の関係者で構成



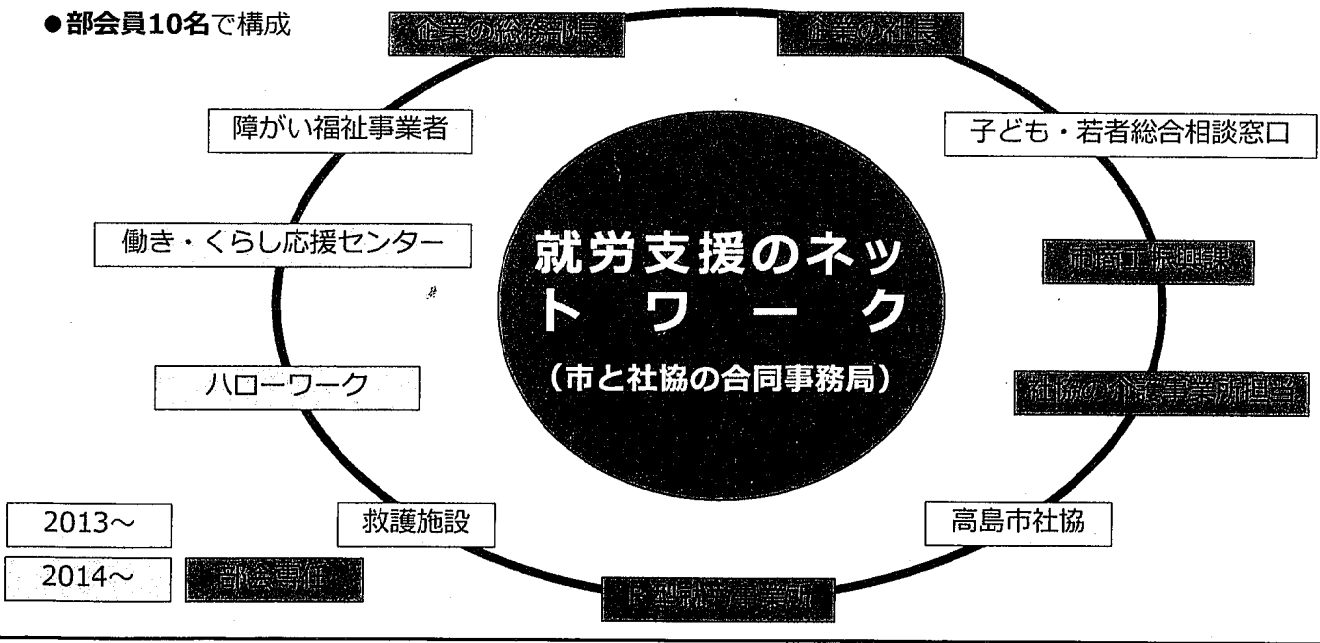
2015「つながり応援センターよろず運営委員会」

● 官民18名の関係者で構成



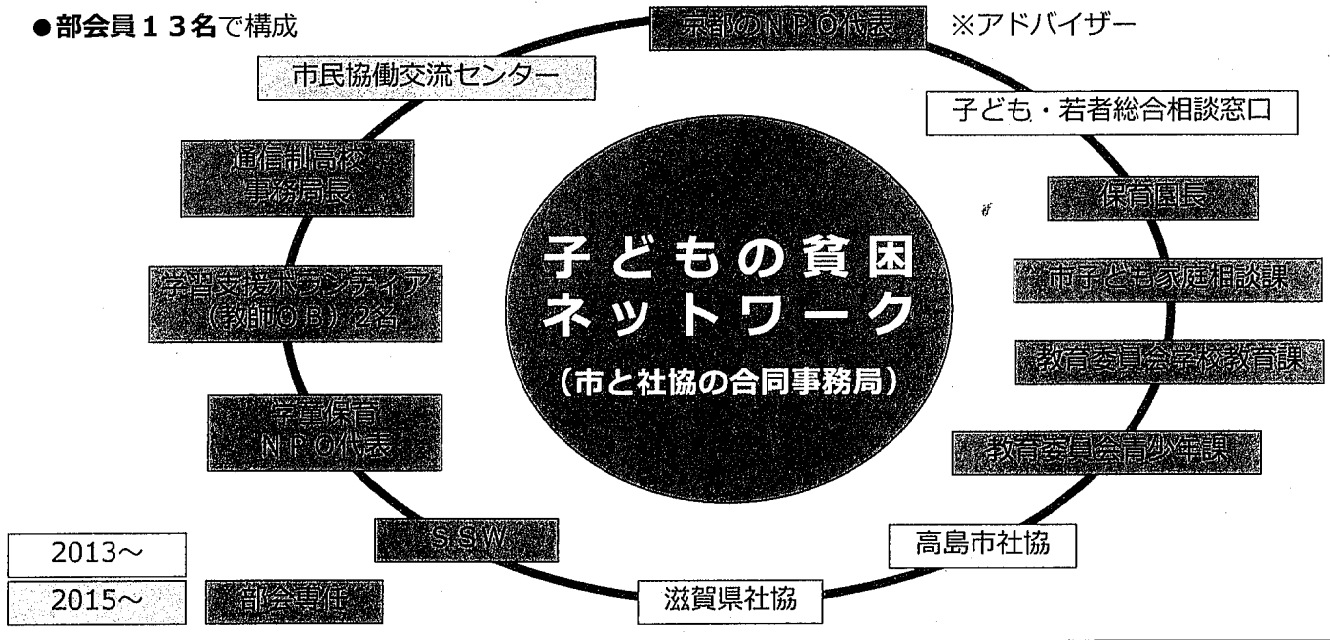
2015「つながり応援センターよろず運営委員会」 就労支援部会

● 部会員10名で構成



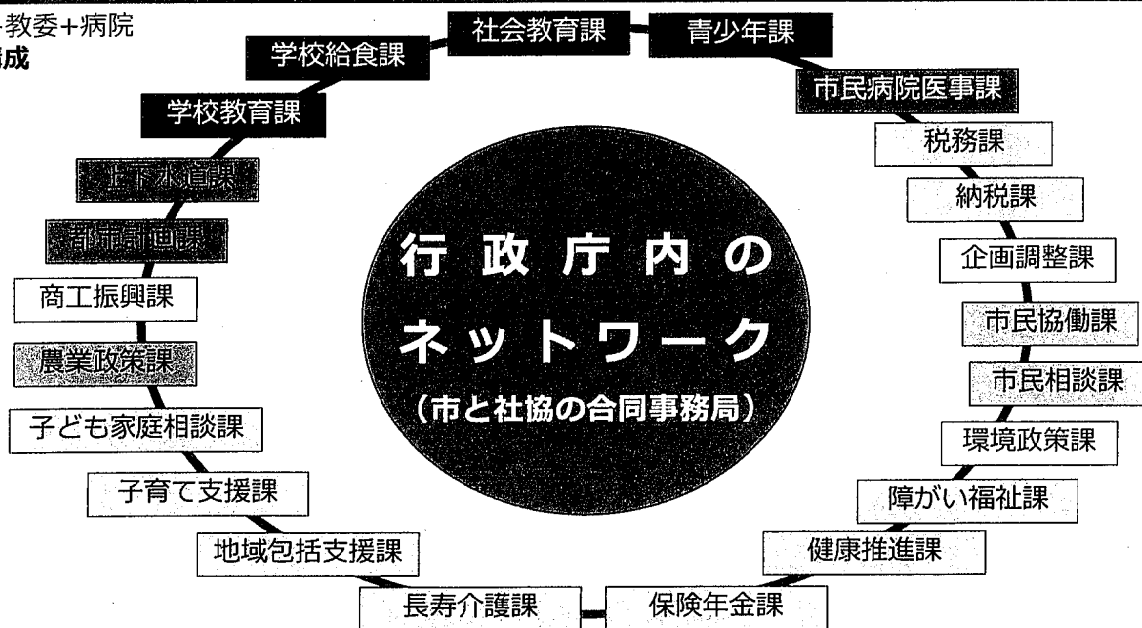
2015「つながり応援センターよろず運営委員会」 子どもの貧困対策部会

●部会員13名で構成

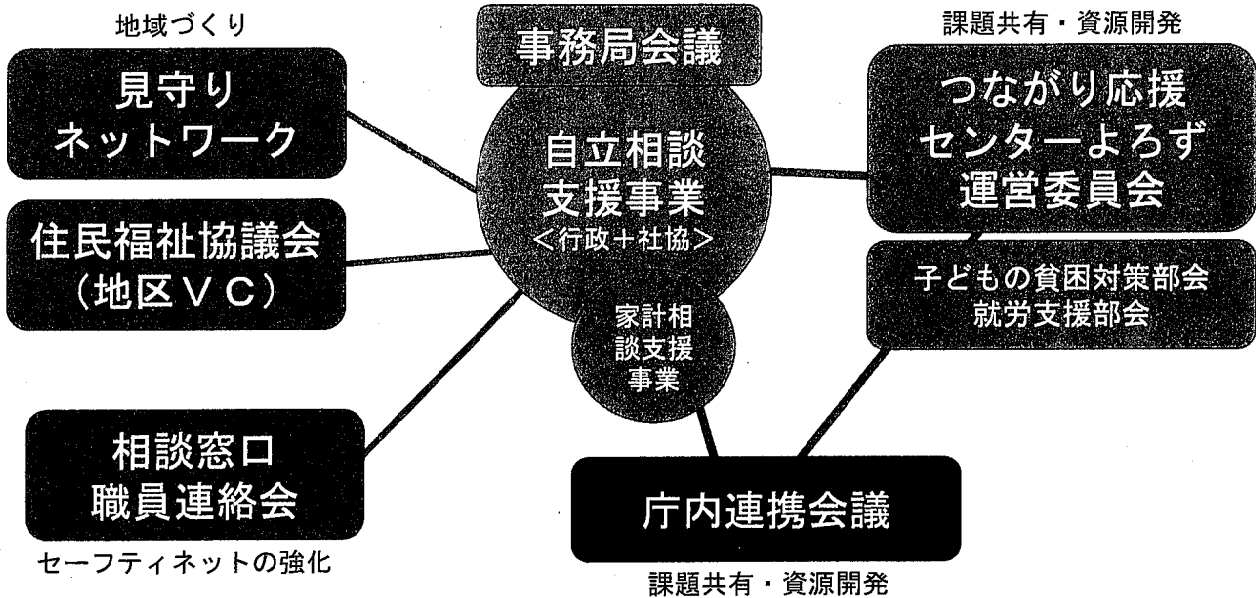


高島市役所 庁内連携会議

●8部局+教委+病院
22人で構成



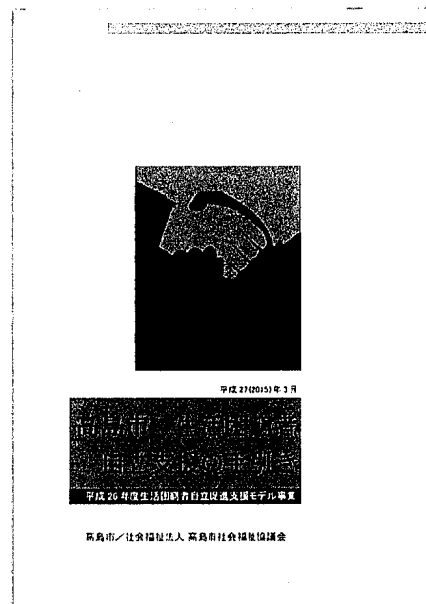
生活困窮者支援のネットワーク



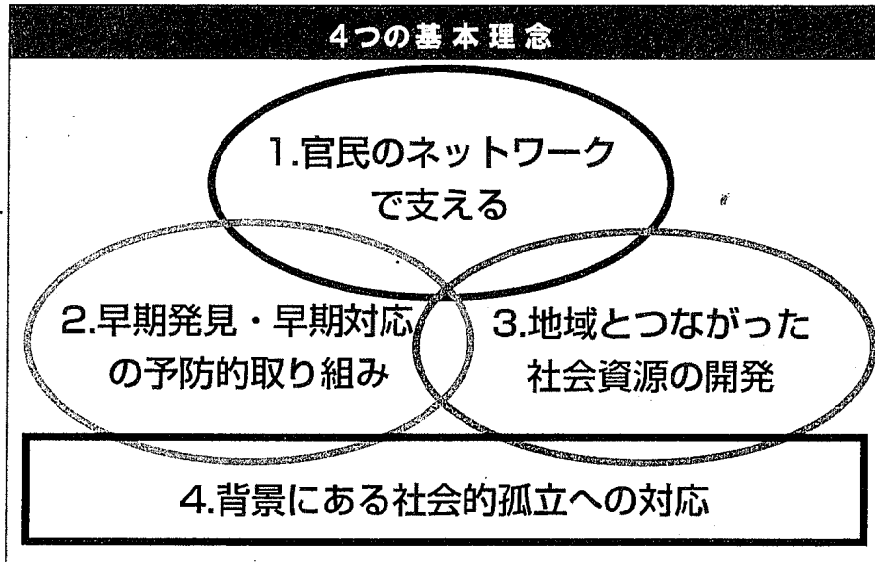
生活困窮者自立支援の手引きの作成

2013～2014のネットワークづくりとモデル事業を通して関係者と共有。高島市の生活困窮者支援は何を大事にやっていくのかを明らかにした手引書。

高島市社協のホームページからダウンロードできます。
<http://takashima-shakyo.or.jp/yorozu/>

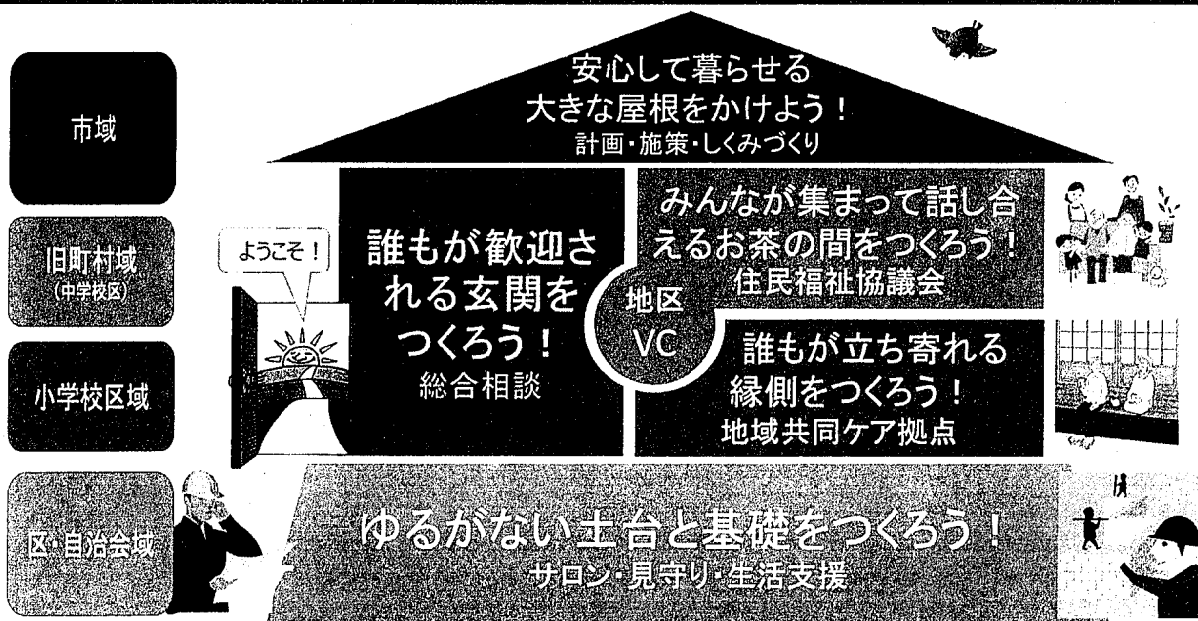


高島市における生活困窮者支援の「4つの基本理念」について

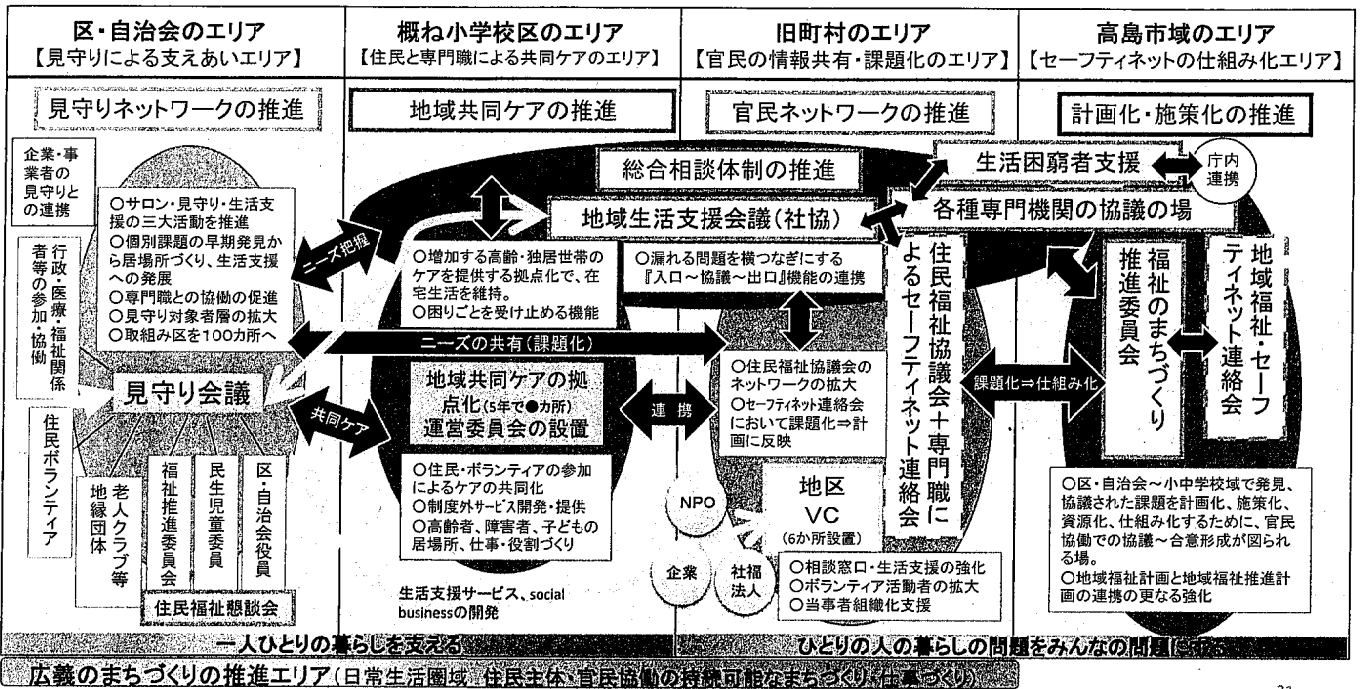


高島市地域福祉推進計画

10年後を見据えた「あったかい我が家のようなまち」の設計図について



平面図 groundplan 各圏域の重点的な取組みと圏域間連携

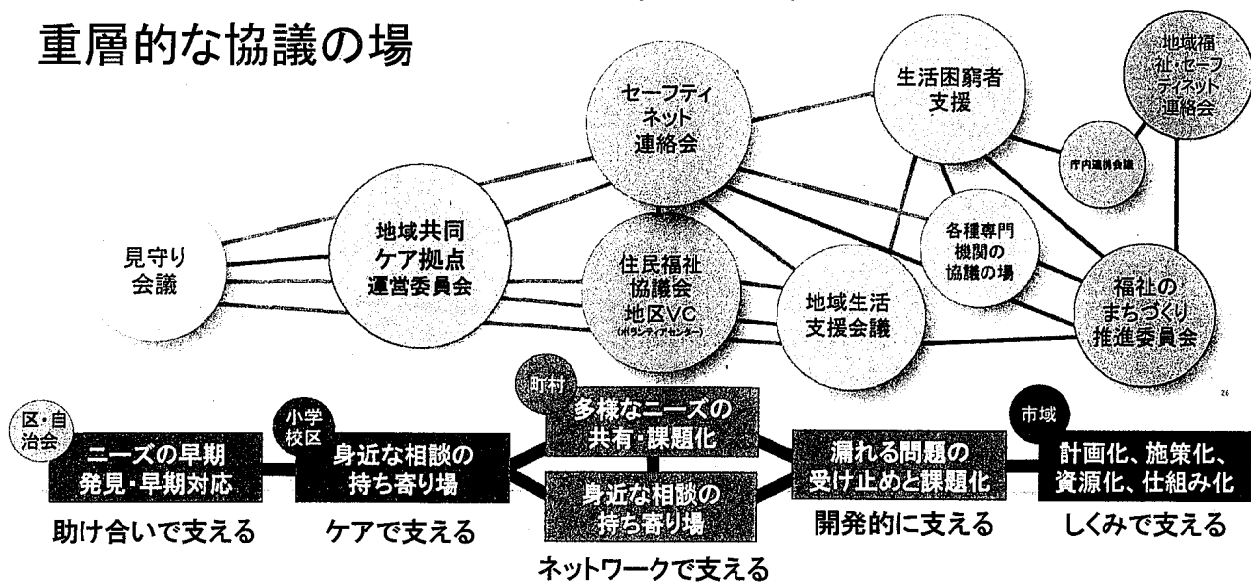


©高島市社会福祉協議会2014

21

各圏域ネットワーク同士の連携

●ひとりの人の問題をみんなの問題にするための
重層的な協議の場



©高島市社会福祉協議会2014

22

地域づくり

～見守りネットワークの基本的な考え方～

- 属性別、監視型見守りではない、まちづくりとしての見守り。
- 専門職の物差しで対象を決めない。「住民が気になる人」を見守る。(対象を限定しない、情報は住民がつくる)
- 役職型ではない地域ぐるみの取り組みにする(住民がボランティアで参加できる仕組み)
- 方法を押し付けない、住民の生活現場に合わせた、ボトムアップでオーダーメイドの取り組みにする。
- 住民に活動を押し付けず、専門職との協働を進める。

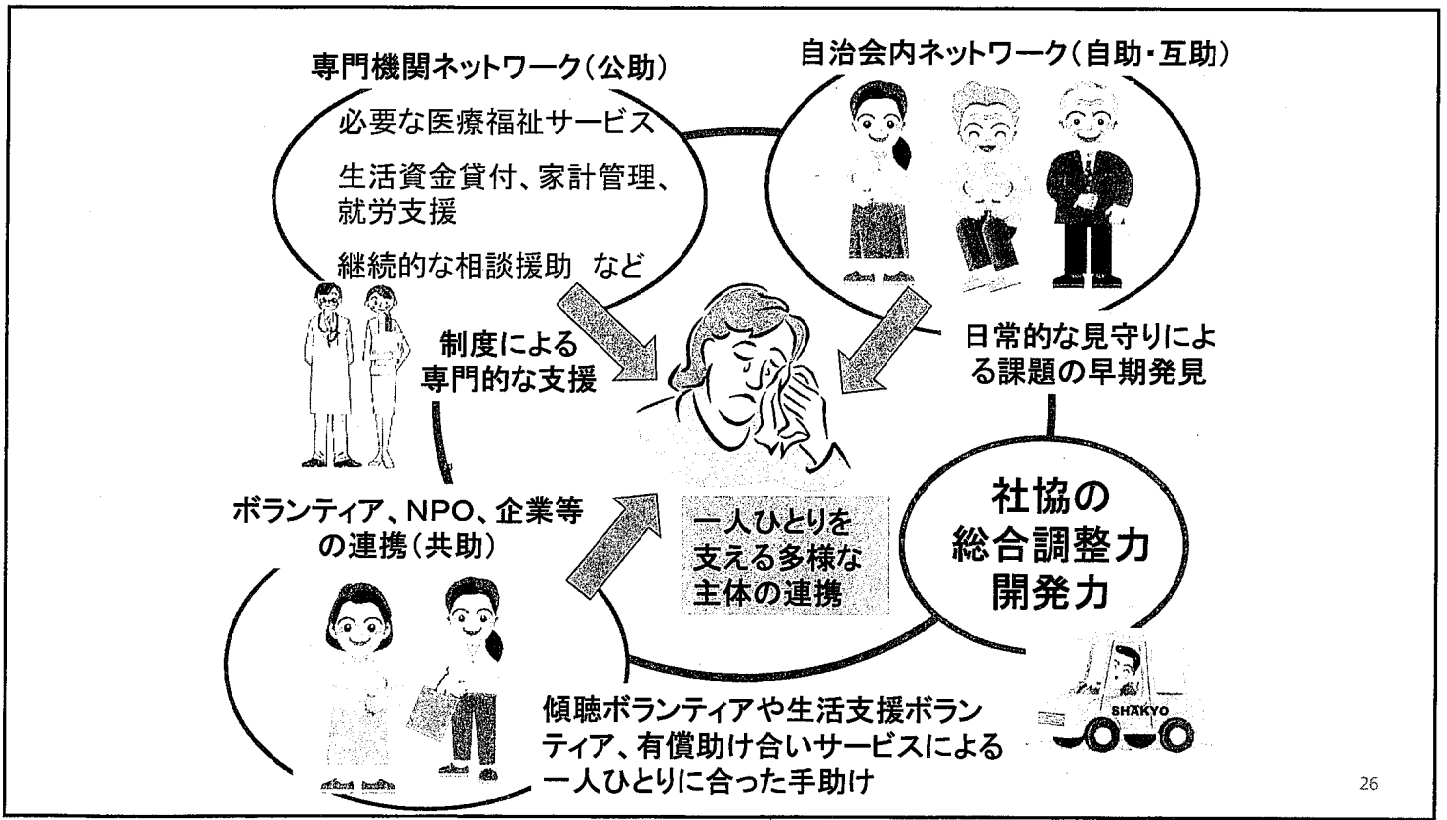
23

見守りネットワーク活動(訪問型)

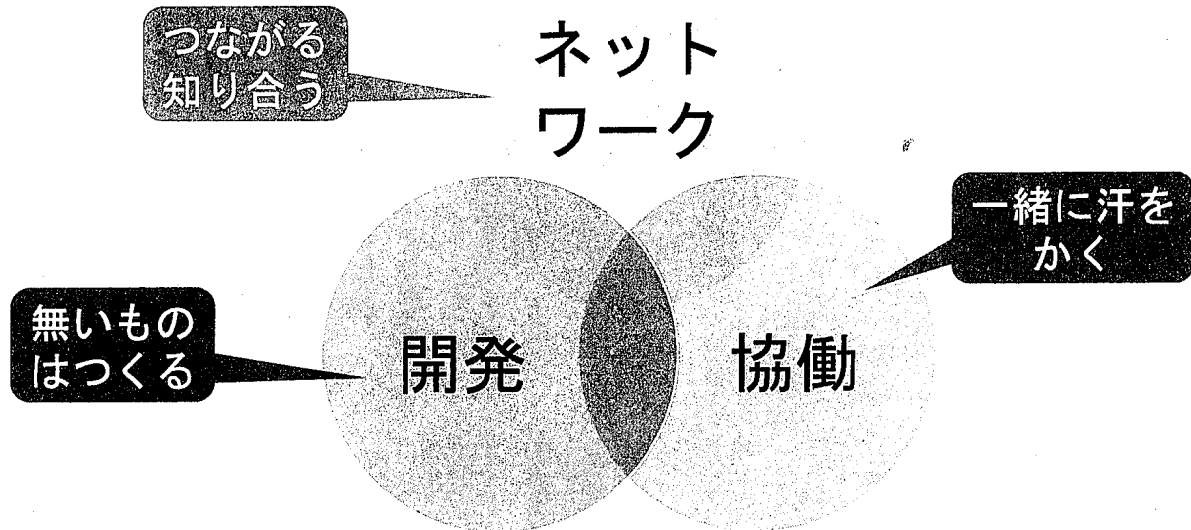


24

見守りネットワーク活動(居場所強化型)



大切にしている3つのキーワード

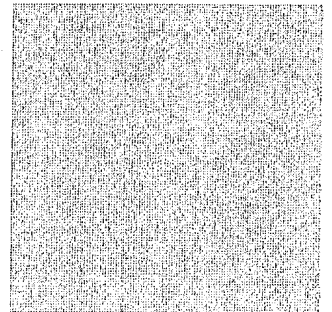
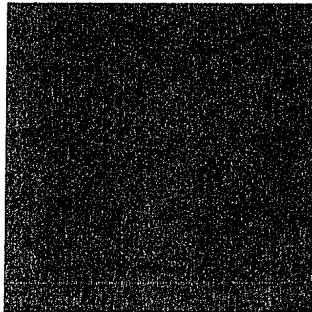
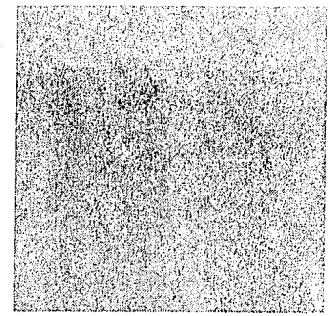
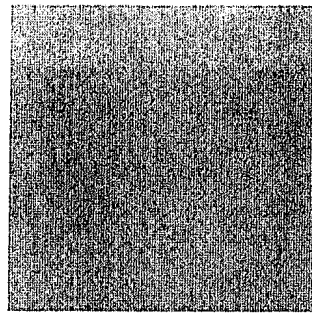
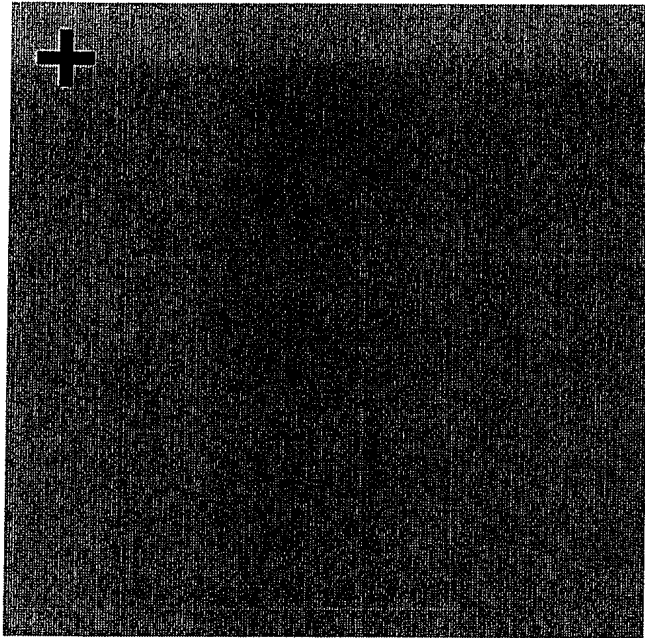


ネットワーク・開発・協働

《ネットワーク》 分野縦割りになった制度福祉中心からの脱却のために、高齢、障がい、児童、貧困の各機関、事業所の課題共有と顔の見える関係をつくる。（電話一本で助けてと言える関係）

《開発》 制度に基づく福祉ではなく、ニーズに基づく福祉を行う。あるもので対応するだけでなく、「無いものは創る」のがプロの醍醐味。

《協働》 ふくしの主体は住民であり、専門家固有のものではない。制度福祉では解決できない問題を住民と共に解決する協働力が求められる。専門職主義、住民は専門職が資源化するものという発想からの脱却。



インクルージョンネットかながわ活動紹介

一般社団法人インクルージョンネットかながわ
代表理事 鈴木晶子（臨床心理士）

Copyright ©2015 Inclusion Net Yokohama. all right reserved

+ 団体紹介

- 生活、仕事、住まい、経済的困窮、家族、心身などに様々な課題を抱え、孤立や社会的排除など困難な状況にある人たちに、包括的・継続的な支援を行い、市民が共に支え合う社会の実現を目指している団体。
- 神奈川県内のさまざまな支援団体からメンバーが集まって支援活動を行っている団体。
- 5年前に生活困窮者を支援するため共同事業体として支援事業を開始したのが源流。現在も協力団体と各種の協働事業を行っている。



Copyright ©2015 Inclusion Net Yokohama. all right reserved

+ 活動紹介 (1) 相談支援事業

- 寄り添い型の包括的・継続的相談支援事業を実施
- 行政委託：鎌倉市の生活困窮者自立相談支援事業
 - 神奈川県内でも数少ない社協以外の民間委託の自立相談支援事業。
 - 担当課や関係各課・機関との連携の中で民間の利点を生かした相談支援事業を展開している。
 - これまで、横浜市パーソナル・サポート・サービス（内閣府モデル事業）、神奈川県生活困窮者自立相談支援モデル事業も運営してきた実績。
- 制度にのらない民間としての相談支援事業
 - 地域を移動していて相談先が不明瞭になっていたり、地域での支援がうまくいかなかったケースなど、公的支援から漏れてしまった生活困窮者を地域につなぎ戻している。



Copyright ©2015 Inclusion Net Yokohama. all right reserved

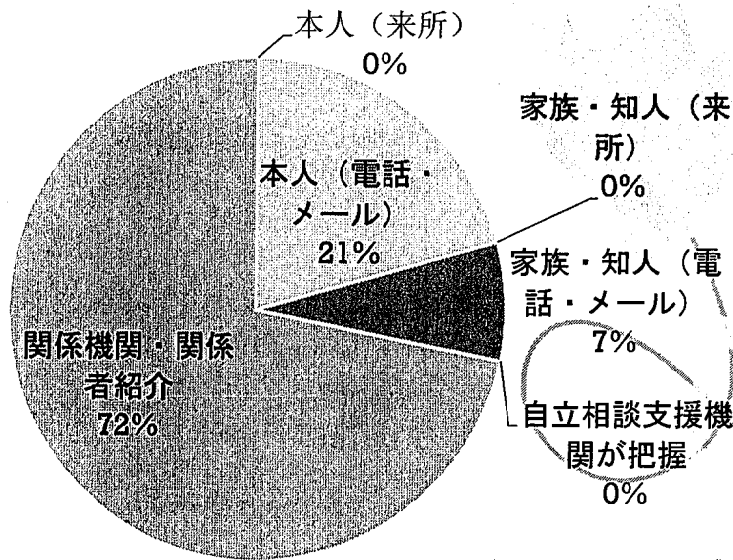
+ 鎌倉市生活困窮者自立相談支援事業報告 (2015年4月～8月まで)

- 2015年4月に全国でスタートした生活困窮者自立支援制度に基づく事業。
- 困窮に至った複雑な状況をお聴きし、本人に寄り添い、縦割りでない包括的な支援プランを立て、一緒に取り組んでいく。
(神奈川県内一般市で社協以外の民間団体に自立相談支援事業が委託されているのは、鎌倉市のみ)
- 5ヶ月で相談受付人数 92名
- うち45名は本人が相談申し込みをし、継続相談。
- 残りは、同意に向けてアウトリーチ中、生活保護など他制度や他機関を紹介等。



Copyright ©2015 Inclusion Net Yokohama. all right reserved

+ 生活困窮者はどうやって相談にたどり着くのか？



看板を掲げて待っていても生活困窮者・家族はやってこない。

Copyright ©2015 Inclusion Net Yokohama. all right reserved

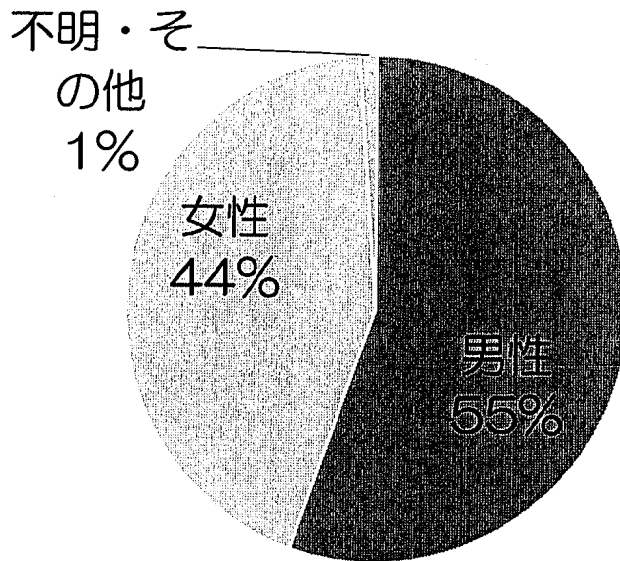
+ 紹介元はどこか？

鎌倉市生活福祉課	19	その他、以下各1ケース。 ・鎌倉市債務管理課、 ・県高等学校スクールソーシャルワーカー、 ・高齢者相談支援センター、 ・県母子家庭等就業・自立支援センター、 ・県社協CSW、 ・不動産店、 ・人権センター、 ・労働組合（ユニオン）
鎌倉市社会福祉協議会	15	
地域包括支援センター	10	
鎌倉市市民健康課	4	
民生委員	4	
県モデル事業	4	
医療機関	2	

行政機関・地域包括支援センターが対象者把握の鍵

Copyright ©2015 Inclusion Net Yokohama. all right reserved

+ 性別は？

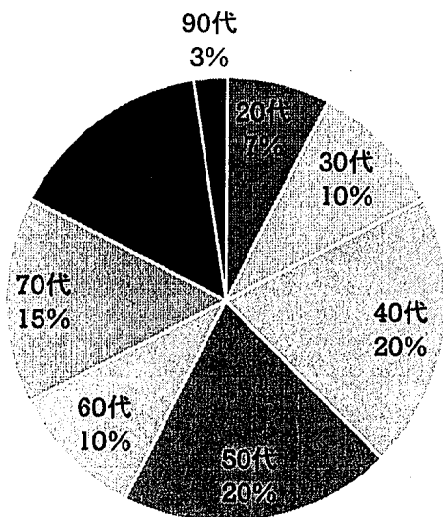


男性の割合が多い。
(LGBTにもセンティブが必要)

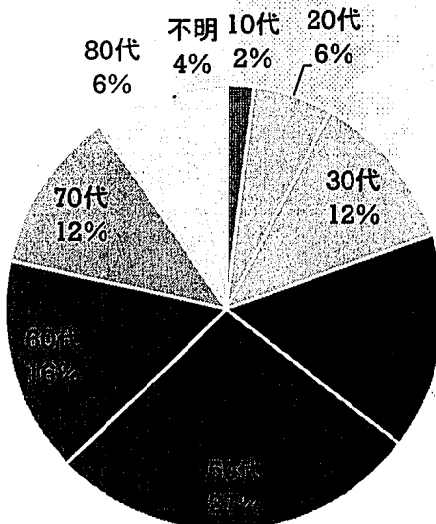


Copyright ©2015 Inclusion Net Yokohama. all right reserved

+ 年代は？



女性年代別

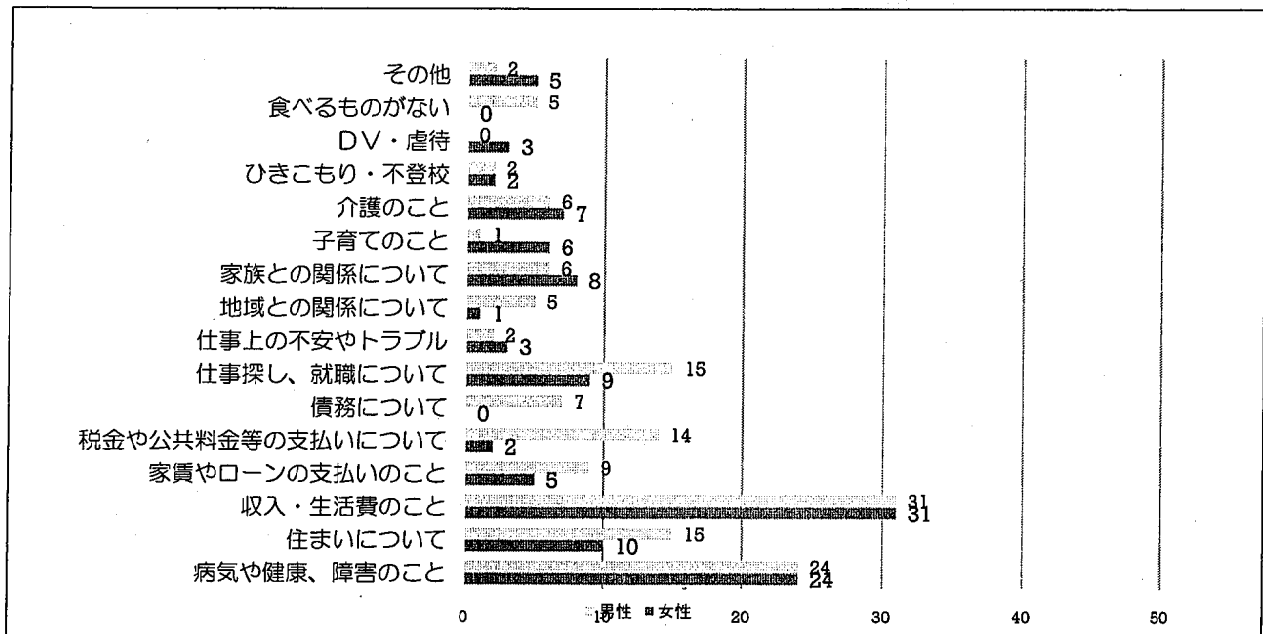


男性年代別



Copyright ©2015 Inclusion Net Yokohama. all right reserved

+ 抱えている課題は？ (本人が記載した申込書より)



Copyright ©2015 Inclusion Net Yokohama. all right reserved

+ 課題の具体的内容は？

課題	内容
収入・生活費	失業して収入が途絶えている、年金の額が十分でない、病気で長期失業中である…等々
病気・健康・障害	病気を患っている、障害を持っている、結果として働けない、医療費がかかる等で生活に困窮。
住まいについて	家賃が高額（市内全域で）、住んでいた賃貸物件からの立ち退きを迫られている、失業と同時に住まいを失ったが行き先がない…等々。
仕事さがし、就職	子どもがいる、介護がある、病気や障害がある、その状態で無理のない勤め先がない、年齢的に、長期失業となつて、病気があるため、雇って欲しくない等
その他に…	地域での孤立やゴミ屋敷、近隣トラブル、長期ひきこもり、離婚問題まで、多種多様な課題。



Copyright ©2015 Inclusion Net Yokohama. all right reserved

+ 活動紹介 (2) 就労支援事業

- スモールステップで段階的に社会参加・就労につなげていく就労支援事業を実施。
- 行政委託：藤沢市の生活困窮者就労準備支援事業。
 - 全国的にも、神奈川県内でも実施している自治体の少ない事業。
 - 社会福祉法人いきいき福祉会との協働事業。
 - これまで培った県内のネットワークを活用して、市外まで含めた就労体験先の確保。
- 制度にのらない民間としての就労支援事業
 - 就労準備支援が実施されていない地域の方にも、段階的な就労支援を提供。
 - 2015年1月～9月は日本フィランソロピー協会からの助成を受けて支援を実施。
 - NPO法人パノラマと共同事業で民間助成、クラウドファンディングによる資金獲得で高校生のための有給職業体験バイターン事業を実施。



Copyright ©2015 Inclusion Net Yokohama. all right reserved

+ 生活困窮者の就労支援のポイント

- 就職のための基盤作りが大きな課題。
 - 安心して仕事にいける状態。
 - 仕事を続けられる健康状態。
 - 仕事のストレスを支える地域の居場所。
 - 朝起きてどこかに出かけていく、人と会話をする、仕事することに慣れる、といった初歩からの訓練の積み重ね。
- さまざまな事情を抱える方を受け入れる地域の就労先開拓が必須。
- 受け入れ事業所からは好評をいただくこともある。



Copyright ©2015 Inclusion Net Yokohama. all right reserved

+ 活動紹介 (3) 緊急小口貸付事業

- 制度につながるまでの隙間を埋める、緊急小口貸付事業。
- 制度につながるまでの緊急支援を行うための事業。
 - 初回の相談に来たり、生活保護、虐待からの保護など緊急的な窓口に向かうまでの交通費。
 - 土日祝日、年末年始等、公的窓口が閉まる間を凌ぎ、開庁後に制度利用を申請するまでの間の衣食住を確保する最低限の費用。
 - その他、緊急で支援が必要とされるもの。
- 民間の寄付で賄われている。貸し倒れがあることもご理解いただいた上での寄付。



Copyright ©2015 Inclusion Net Yokohama. all right reserved

+ 活動紹介 (4) 学習支援事業

- 生活困窮世帯の子どもたちに、教科学習支援に加え、社会体験の機会や、相談、居場所、食事を提供するプラットフォーム型学習支援事業。
- 神奈川県では生活困窮者を自立支援制度によって実施されている自治体が多いが、鎌倉・逗子地域での実施がないため、民間事業として取り組みをスタート。
- WAM助成を活用して事業を実施。逗子の遊悠楽舎など複数団体での連携事業。
- 準備段階から地域の方にもボランティアでの参加や寄付をいただき事業を立ち上げている。



Copyright ©2015 Inclusion Net Yokohama. all right reserved

+ 学習支援事業の現在の成果と課題

■ 成果

- 関係機関各所の広報協力を得て周知活動を行っている。
- 多くの方のボランティア、寄付による貢献によって事業の立ち上げができた。
- 生活困窮当事者やひきこもり経験者もボランティアとして参加し、社会参加の機会となっている。

■ 課題

- 貧困が見えにくい街であるため、当事者に情報が届いているのか分かりにくい。



Copyright ©2015 Inclusion Net Yokohama. all right reserved

+ まとめ (1)

- 生活困窮者の支援はいかに役所内の連携体制、地域の連携体制が整っているかが鍵となる。
- 地域連携には、専門機関だけではなく、民間法人・企業、不動産業者、一般市民など、地域づくりにつながる広い視野が必要。民生児童委員の皆さんは重要なキーマン。
- 就労までに時間のかかる方が多く、手厚い支援と、地域の受け入れ先が必要。
- 一方で、その後は地域に貢献できる人材となってい



Copyright ©2015 Inclusion Net Yokohama. all right reserved

+ まとめ (2)

- 高齢者の暮らしを制度や地域でどう支えるかは課題。
- 健康や医療費の問題は生活困窮に直結する。
- 住まい施策の充実が、生活困窮者支援にとって重要な鍵となる。
- 従来比較的高所得と思われてきた鎌倉湘南逗子などの地域でも子どもや若者の貧困が進行している。子どもの貧困への取り組みが、未来への先行投資になる。



Copyright ©2015 Inclusion Net Yokohama. all right reserved